



色鮮やかな花の競演

5月29日、小園橋付近の畑の真ん中に、^{べにひいろ}紅緋色、桃色、白色などの色彩豊かなゴデチアが咲き誇っていました。アメリカ合衆国の西海岸が原産地のゴデチアは、和名を「イロマツヨイグサ」といいます。色鮮やかなゴデチアたちは、目久尻川の遊歩道を散策している人たちの目を楽しませているようでした。

【高橋 元】



カルガモの親子も、外出自粛の解除かな？

緊急事態宣言の解除がされて間もない5月31日の朝、目久尻川で引っ越しをするカルガモの親子に出会いました。9羽の子ガモが、お母さんカモに連れられて上流に向かって泳いでいきました。カルガモは、外敵からひなを守ることと餌を探すことを目的に、子ガモが成鳥になるまで何回か引っ越しをするそうです。

【秋元 謙治】



春から夏へ

6月3日、蟹ヶ谷公園で、オトギリソウ科の^{きんしほい}金糸梅が見頃になっていました。ハナショウブやアジサイもこれから見頃を迎えそうです。同公園はアオサギや市の鳥であるカワセミも見ることが出来る静かな公園です。春から夏にかけての今の時期、近くに立ち寄った際は散歩をしてみると、ゆったりとした時間を過ごせるかもしれません。

【篠塚 常夫】



春日原の旬は「菜速 あやせコーン®」

6月3日、入梅前の爽やかな時期の春日原では、トウモロコシが茎にたくさんの穂をつけ、空に向かって背伸びしているように見えました。「綾瀬ブランド」と「かながわブランド」に認定された綾瀬のトウモロコシ「菜速 あやせコーン®」は、採れたてを店の開店までに「最速」で届けたいと名付けられました。

【秋元 謙治】



体力アップ

6月9日の早朝、日の出を見ようと風車公園に行ったところ、何人かの方が運動をしていました。中には、ウイルスに感染しないための体力を付ける目的で運動している人もいたのではないのでしょうか。次第に雲の隙間から太陽がのぞき、すれ違う人は無言で手を広げて朝日を浴びながら、1日の始まりを感じている様子でした。

【篠塚 常夫】



子どもたちに手作りマスクの贈り物

6月11日、綾西小学校にメッセージカード付き手作り布マスク500枚が寄贈されました。綾西地区にある「手作り工房ひまわり」と「チーム笑顔のたね」の皆さんが地域の絆を深めようと作成しました。寄贈は2回目で、今回は小学校1～4年生用のマスクです。メッセージカードには「笑顔の花を咲かそう」などと記されています。

【高橋 元】